

I 平成 24 年度事業報告

1. 会議等

1) 総会

日時：平成 24 年 6 月 15 日（金） 14：00～14：40

場所：横浜みなと博物館 日本丸訓練センター第 1 教室

・施設見学会 帆船日本丸

横浜みなと博物館

・交流会 横浜みなと博物館内 パークカフェ・グリーン

2) 企画委員会

第 1 回企画委員会

日時：平成 24 年 7 月 19 日（木） 14：30～16：30

場所：社団法人ウォーターフロント開発協会事務所

東京都港区芝浦 3-11-9 武藤ビル 3F

第 2 回企画委員会

日時：平成 24 年 10 月 11 日（木） 14：30～16：00

場所：社団法人ウォーターフロント開発協会事務所

東京都港区芝浦 3-11-9 武藤ビル 3F

第 3 回企画委員会

日時：平成 25 年 3 月 8 日（金） 14：30～16：00

場所：社団法人ウォーターフロント開発協会事務所

東京都港区芝浦 3-11-9 武藤ビル 3F

3) 拡大役員会（役員及び顧問）

日時：平成 25 年 2 月 15 日（金） 14：00～16：30

場所：世界貿易センタークラブ

東京都港区浜松町 2 丁目 4-1

世界貿易センタービル 38F

4) 助成事業審査委員会

日時：平成 24 年 12 月 13 日（木） 14：00～16：00

場所：社団法人ウォーターフロント開発協会事務所

東京都港区芝浦 3-11-9 武藤ビル 3F

2. 平成 25 年度助成事業について

平成 24 年 10 月 11 日 正会員にメールにて助成事業募集をし、11 月 30 日締切り。

平成 24 年 12 月 13 日に開催された審査委員会で次の 7 件の助成が決定された。

| | 館 名 | 活 動 名 | 実施期間 | 助成金 |
|----|-------------------------------|---------------------------------|--|--------|
| 1 | みちのく北方漁船博物館 | 平成 25 年度海と船の企画展「船舶画にみる日本の船のあゆみ」 | 平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 3 月 31 日 | 155 千円 |
| 2 | 青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸 | 企画展 「青函連絡船の船体構造写真展」 | 平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 3 月 31 日 | 147 千円 |
| 3 | 公益財団 帆船日本丸記念財団 横浜みなと博物館 | 「横浜港ゆかりの船（仮題）」出版 | 平成 25 年 10 月 15 日～ 平成 26 年 2 月 15 日 | 163 千円 |
| 4 | 日本郵船歴史博物館 | 小学生飛鳥Ⅱペーパークラフト教室 | 平成 25 年 8 月 24 日～ 平成 25 年 8 月 24 日 | 50 千円 |
| 5 | 日本海交流センター帆船 海王丸（海王丸パーク） | 大規模修繕にかかる内容展示 | 平成 25 年 4 月 26 日～ 平成 25 年 5 月 25 日 | 114 千円 |
| 6 | 名古屋海洋博物館 南極観測船ふじ | 第 29 回ボトルシップ展 | 平成 25 年 11 月 1 日～ 平成 25 年 12 月 28 日 | 50 千円 |
| 7 | 海峡ドラマシップ （関門海峡ミュージアム） | 海と船の体験学習室 | 平成 25 年 4 月 6 日～ 平成 25 年 9 月 1 日 | 147 千円 |
| 合計 | | | 7 館 | 826 千円 |

《 平成 25 年度助成事業審査委員会 》

委員名簿

(五十音順、敬称略)

飯沼 一雄 船の科学館 学芸部長 (企画委員)

池上 正春 国土交通省港湾局 海洋・環境課 課長

志澤 政勝 横浜みなと博物館 副館長 (企画委員長)

○ 堀川 洋 社団法人日本港湾協会 事務局長

(○:委員長)

平成 24 年度助成事業は平成 23 年 12 月 16 日に開催された審査委員会で 5 件、800,000 円の助成が決定され、助成を行った。

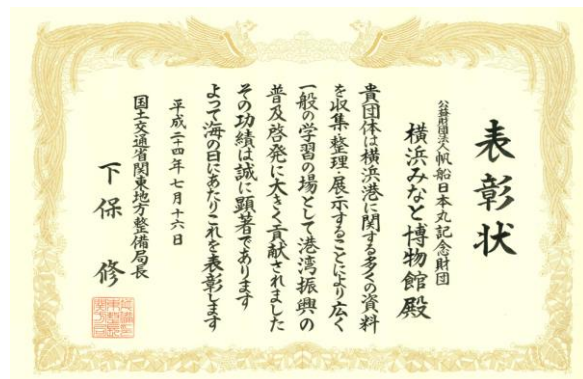
3. 会報の発行

平成 24 年 8 月 31 日、
会報第 8 号を発行。



4. 表彰状の授与

横浜みなと博物館は横浜港に関する多くの資料を収集・整理・展示することにより、広く一般の学習の場として港湾振興の普及啓発に大きく貢献した功績を評価され、港湾功労者として海の日付で関東地方整備局長より表彰されました。



表彰状

5. 国土交通省への要望

平成 24 年 10 月 26 日(金) 国土交通省港湾局長、海洋・環境課長に要望書を提出した。

要望内容

1. みなとの博物館ネットワーク・フォーラムの活動に対する支援の継続

みなとの博物館ネットワーク・フォーラムは設立して 8 年を経過し、社団法人ウォーターフロント開発協会が事務局を担当して 3 年経過した。

この間ホームページを一新し、ロゴマークにかえて、ミュージローキャラクターを全面的に活用するなどの改訂を行ってきた。

また、昨年より「今月の逸品」など新たな事業も開始した。主たる事業である助成事業、スキルアップ交流会は高く評価され、みなとの博物館の活動に大きな意義を有している。

しかし、特に正会員の一部で運営、存続が危ぶまれており、また、いずれの博物館も経営環境は厳しく、当ネットワーク・フォーラムの活動を会費のみで運営していくことは大変難しい状況です。

つきましては、このことを十分理解され、今後ともご支援を頂きますよう、特段のご指導をお願い致します。

6. ホームページについて

平成 24 年 10 月ホームページのレイアウトを一部変更。

<http://www.waterfront.or.jp/portmuseum/>

主な変更項目

- ・トップページのレイアウト変更（最新情報欄の拡大）
- ・ロゴを削除（ミュージローを活用）
- ・全国みなとの博物館情報の変更（地図、アイコン等）
- ・助成事業のページのレイアウト変更
- ・会員名簿・役員名簿の変更



7. 「今月の逸品」について

「今月の逸品」をホームページとメールマガジンに掲載。

(平成 24 年 3 月～平成 25 年 3 月掲載一覧)

- vol. 5 フェルケール博物館「缶詰記念館建物」（旧清水食品株式会社社屋）
- vol. 6 名古屋海洋博物館「神島信号所」双眼鏡
- vol. 7 なにわの海の時空館「ラッキードラゴン」
- vol. 8 神戸海洋博物館「Cunard 社の現役クルーズ客船の模型 3 点」
- vol. 9 大和ミュージアム「1 / 10 戦艦『大和』」
- vol. 10 わかちく史料館「川艦（かわひらた）[五平太舟] 復元模型」
- vol. 11 みちのく北方漁船博物館「復元北前型弁才船みちのく丸」
- vol. 12 苫小牧ミニポートミュージアム「フェリーモデルシップ達」
- vol. 13 青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸「青函ワールド」
- vol. 14 山形県酒田海洋センター「傘福」
- vol. 15 新潟市歴史博物館「みなとぴあ」「国指定重要文化財旧新潟税関庁舎」
- vol. 16 日本海交流センター・帆船海王丸（海王丸パーク）の「帆船海王丸」
- vol. 17 石川県銭屋五兵衛記念館「銭五（銭屋五兵衛）家旧蔵仏壇」

